



# 学校だより

郡山市立多田野小学校  
第29号  
令和6年11月14日(木)  
文責：校長 宗像善吉



## 日頃の感謝を込めて！

8日(金)は堀口分校で、令和6年度「収穫祭」が行われました。畑や田んぼを貸していただいている さん、 さんをはじめ、子どもたちのおうちの方など20名以上が参加して行われました。朝9時30分前から保護者の方々にお集まりいただいてさつま汁・餅つきの準備にご協力いただく姿を見て、田植えも稲刈りもその他の行事も、保護者や地域の協力がないと成り立たないのだなと改めて感じました。



10時20分からは体育館で児童の発表が行われました。子どもたち

が、田植えや稲刈り、サツマイモの苗植えや収穫について一人一人作文にして発表しました。各学年、自分が思ったり感じたりしたことを素直に表現していました。学年に応じた発表がしっかりとできていて感心させられました。土曜参観にも披露した「エイサー」も発表しました。多くの人の前で披露するたびに腕があがっているのが伝わる演奏でした。

発表の後は、会食です。臼と杵を使って餅をついて、きなこ餅やあんこ餅・キャベツ餅の3種類の餅を作りました。発表前に準備したさつま汁も鈴木さんの手によりできあがっていたので、一緒にいただきました。先生が焼いてくれた焼き芋もふるまわれました。じっくり焼いた石焼いもは今年もおいしく焼きあがりました。

堀口分校の地域・保護者の皆様、これからも堀口分校の子どもたちを温かく見守ってください。



## 郡山市制百周年記念式典から

前号では、「未来のこおりやまに向けた提言」の中の「自然・環境」についてお知らせしまし

たが、今回は「暮らし・地域とのつながり」の内容をお伝えします。「目指す未来のこおりやま」では、「音楽とスポーツに囲まれたまち」「地域の交流やきずながあるまち」「小さい子どもが安心して外で遊べるまち」「すべての人が平等で差別がないまち」「学びたいことを自由に学べるまち」「災害に強く、私たちの世代も安心して暮らせるまち」「『挑戦したい』『やってみよう』があふれるまち」を目指し、「実現に向けて私たちにできること」としては、「音楽やスポーツイベントにたずさわります」「地域の行事に積極的に参加します」「困っている人がいたら手を差し伸べます」「様々な言語や手話を学びます」「異なる文化・価値観・多様性を学びます」「地震や水害などの被災体験を伝承します」

「仕事・働き方」の内容は、「どんな人でもやりたい仕事ができるまち」「夢や希望を持って働くことができるまち」「仕事と子育てが両立できるまち」「ゆとりを持って安全に働けるまち」「ロボットやAIを活用して効率よく働けるまち」が挙げられました。実現に向けて私たちにできることとしては、「やりたい仕事に関係することを勉強します」「政治や経済など興味があることを学びます」「郡山市の魅力を発信します」「子どもたちを地域みんなで見守り、育てます」

記念式典で発表した提言は、当日参加しなかった5・6年生にも市役所HPの動画も利用し、みんなで共有しました。



## NET 社会に生きる子どもたちと家庭

今回は、「SNSの注意点とトラブル対処法」についてです。SNSの注意点としては、人それぞれ価値観が違って、アウトかセーフは自分が決めるのではなく、相手が決める。自分はセーフでも相手はアウトということがあるのは当然。もし、ネットに誹謗中傷の書き込みなどをされたら、

- 投稿日時つきの画像・URLをPDFで保存
- 敬語で否定する。反論するのはダメ
- プラットフォームに削除申請

(裏面に続く)

<p>○専門の相談窓口へ連絡 ○警察や弁護士と相談したことは秘密にする ○不審者は撮影する などの対処法が良いとのことでした。 <b>警察に相談する時は、</b> ○まず電話をしてから被害の内容を伝える ○担当の人と会う日時を決めてから出向く</p>	<p>○被害の内容が分かるものをすべて準備 ○被害の内容が伝わるようまとめておく ○警察官との会話もメモしておく などが大事とのこと。このような事態にならないように大人も油断しない、子どもたちにも分かるように<u>教えていくことが大切だ</u>と感じます。</p>
---	--